

令和 8 年 8 月記者会見

質疑応答の概要

市の取組

①令和 8 年熊本地震に係る職員派遣出発式の開催

Q.

今回派遣する 2 名の職員は住宅被害認定調査業務の経験者ということですが、どの機会に経験されたのですか。

A.総務課長

この場では手持ち資料がないため詳細はお答えしかねますが、2 名の職員が住宅被害認定調査業務の経験者であることには間違いありません。

令和 8 年第 3 回富谷市議会定例会提出議案

① 令和 8 年度 9 月補正予算の概要

Q.

9 月補正予算の主な事業の「結婚新生活支援事業」に関して、対象者の条件などがありますか。また、助成対象の住居費はどういったものを指すのか教えてください。

A.子育て支援課長

対象者の条件につきましては、夫婦もしくは、いずれかの居住住所が、本市の住民基本台帳に記載の住所であることや本市に 3 年以上定住の意思があることなどを条件としております。助成対象経費につきましては、住宅取得費用、リフォーム費用、住宅賃借費用(最大 3 カ月)、引っ越し費用を対象としております。

Q.

本事業を今回新たに実施する目的や経緯を教えてください。

A.子育て支援課長

婚姻に伴う経済的負担を軽減するため、新規に婚姻した世帯を対象に、婚姻に伴う新生活を経済的に支援する施策を推進し、若い世代が結婚や出産の希望を実現できる社会をつくり、地域における少子化対策を推進することを目的としています。

Q.

事業を実施するにあたり、市長として期待することがありましたら教えてください。

A.市長

全国的に人口減少や少子化が進んでおり、富谷市では現在も人口は増加しているものの、その伸びはかなり鈍化しております。少子化の大きな要因の一つとして、未婚率の上昇があり、特に 50 歳未満では、未婚者の割合が男性で約 3 割、女性でも約 2 割に迫るなど、年々増加しています。こうした状況を踏まえ、結婚を希望する方が経済的な負担を理由に結婚を諦めることがないように、結婚に伴う費用の負担を少しでも軽減し、結婚への一歩が踏み出しやすくなればと考え、今回新しくこの支援制度を設けたところでございます。

Q.

今後、事業を実施していくにあたり、市として期待していることや、事業を通じて実現したいことはありますか。

A.市長

まずは本事業によって結婚する方が増えることを、市として期待しています。さらに、結婚をきっかけに富谷市へ移住する人が増えるなど、移住の促進にもつながればと考えております。そのために、この事業をより多くの市民の皆さんに知ってもらい、積極的に活用していただきたいです。

Q.

9 月補正予算の主な事業の「大亀山森林公園の維持管理事業」に関して、伐採を実施する誘引木の具体的な種類と本数を教えてください。また、パトロール用のトランシーバーは何セット購入するのか教えてください。

A.都市計画課長

誘引木につきましては、園内にある栗の木とくるみの木、柿の木を対象としており、現時点では 39 本の伐採を想定しています。トランシーバーにつきましては、園内パトロールの連絡体制強化ということで、2 台（一対）の購入を予定しています。